

機青連設立 30 周年記念式典イベント「朝までキセイレン」

1 月 24 日 於 松本旅館

岡崎電工(株) 岡崎 満 (設立 30 周年記念事業実行委員会 実行委員長)

機青連伝統事業の“朝までキセイレン”を、機青連設立 30 周年記念式典 イベントとして、場所は、京都駅前の松本旅館にて、行いました。

30th Anniversary Believe & Move



テーマは、信 躍動

静本副実行委員長の司会で会はスタート致しました。

冒頭、名高代表幹事のご挨拶がありました。

続いて、名高代表幹事と私岡崎による、“エピソード 信”を行いました。



こちらでは、名高代表幹事ご自身が掲げた、設立 30 周年式典の 開催理念を名高代表幹事によりお話し頂きました。

そして、私岡崎から、その開催理念を受けて実行委員会が立ち上がり、キックオフを行ったことをご報告致しました。

そして、テーマに掲げた、信 躍動 の意味、そしてこのプレイベントの意味をお伝えさせて頂きました。

第 9 期、第 10 期 元代表幹事の松岡さんの乾杯のご発声により、一部が開始致しました。

この一部では、各テーブルに5名ずつに分かれて、食事を取りながら機青連に対する想い、入会してどのような変化があったか、また機青連でのエピソードを自由にディスカッション頂きました。



第二部では、会場にそれぞれランダムにお座り頂き、名高代表幹事と私岡崎のコーディネーターによる、お座敷ディスカッションを行いました。



ここでは、実行委員の若手メンバーから、普段抱えている悩みや想いを先輩方に質問をぶつけて、それに機青連での活動、エピソードを交えお答え頂くという、内容となっております。



中村顧問にも駆けつけて頂き、機青連の思い出話を語って頂きました。

会場の皆さんからは、時には、笑いあり、時は真剣なお話しも交えながら、それぞれの機青連スピリッツを語り合うことができました。

二部の中締めは、私岡崎から、2011年6月4日の式典当日の内容をお伝えすることで中締めのご挨拶とさせて頂きました。

その後の第三部では、部屋を移して、本当の“朝まで”の語り合いになりました。

それぞれが自由に、それぞれが胸に秘めた熱い思いを、機青連の本物の仲間と、語り合いながら機青連、そしてその仲間との絆を深めることとなりました。



以上

